

第 21 号

平成14年
4月30日

~~~~~  
題 字  
植 木 満 会 長

# 東 進

発行所

土浦一高東進会

(茨城県立土浦一高  
進 修 同 窓 会  
東 京 支 部)

事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-8 麹町スカイマンション805  
大野金一法律事務所内 TEL 03-3556-9787 FAX 03-3556-9788  
http://www2.odn.ne.jp/cai32760/tsuchiuralko-toshinkai/



## あの感動を再び

今年の土浦一高東進会同窓会は

**6月16日(日)：学士会館で**



**日時** 平成14年6月16日(日)  
12:30~13:15 吹奏楽部・応援部演奏演技  
13:15~13:45 総会  
**議題** 平成13年度収支決算  
平成14年度収支予算  
役員の改選  
13:45~15:30 懇親会  
**会場** 学士会館 (電話 03-3292-5931)  
半蔵門線・都営新宿線・三田線  
「神保町」下車1分

### 今年の当番幹事は 昭和四十四年卒 補佐は昭和四十五年卒

昨年の同窓会は、六月九日同じ学士会館で開催しましたが、母校の吹奏楽部の演奏と応援部の演技が披露され、満場の拍手を浴びました。挨拶に立たれた恩師の和田隆先生は、「こんなに感動したことはなかった」と感想を述べられました。出席者一同も、青春時代を思い起こしつつ、うっとりとき聞き入っていました。

今年も、吹奏楽部と応援部の生徒達が大挙して学士会館にやってきました。生徒達も、先輩が大勢見守る晴れの舞台で演奏、演技ができることを楽しみにしています。

大太鼓を持ち込んでの演奏ができる会場は、都内でも限られています。当初予定していた六月八日(土曜日)は、学校の都合で不可能になりました。その他の土曜日は、会場が確保できませんでした。

今年も、上記のとおり日曜日開催となりましたが、お誘い合わせの上、大勢の会員に出席していただき、母校の生徒を励ましていただきたいと思います。

(岡崎孝宣)

### 五十六年ぶり「修学旅行」実現へ

#### 旧制土浦中学も生徒ら 戦争で行けず「空白埋めたい」

#### 十一月恩師も招き熱海へ

〔茨城新聞平成十三年九月二十五日  
一面・十九面の抜粋〕

「茨城県立土浦中学校昭和二十年卒業第四十五回生の修学旅行」を企画立案したところ、茨城新聞のほか十月一日には常陽新聞が一面の四分の一を使用し詳細に報道、これに伴って十月二十五日朝日新聞が昭和二十三年三月本館前で撮影したたった一枚の卒業記念写真(勿論アルバム等は無し)入りの事前記事、更に実施当日の十一月七日には読売新聞に、

#### 六十年越しの修学旅行

旧制土浦中・卒業生きょう出発の見出し入りで卒業記念写真入りの記事がいずれも大きく報道され参加者一同意気大いに高揚した。

更に宿舍のKKRホテル熱海には静岡第一テレビ川船放送記者が待ち構え七日・八日密着取材された。そして八日夜六時二十分からの「ニュースプラス・ワンしずおか」で四分強のテレビ放映、また九日の熱海新聞は和田先生の郊外授業の写真入りの記事がこれも大きく掲載され、七十台を闊歩中の我が修学旅行は茨城・静岡全域で大きな話題となった。

〔特記〕静岡第一テレビ撮影のテープと昭和十六年当時の滑空班、十八年の出島村での食事風景や卒業記念写真と今回の記録写真などを入れ編集したビデオテープと和田先生の講義録などは土浦一高に寄贈してある。

写真撮影 大塚保・文責 渡邊光夫

卒業56年後に実現した「修学旅行」記録写真・平成13年11月7日(水) 選択コース参加者は小田急新宿駅よりロマンスカーにて小田原駅乗換え大雄山温泉寺へ



同乗の女性達も修学旅行と聞いてびっくり仰天 !!

大雄山温泉寺での記録写真



和田先生(現・青山学院大学名誉教授)の講義は土浦中学で、我々の殆どが「あ行」の発音が正確に出来ないのにびっくりした話から始まり、主題の「日本の将来を憂うー回顧と展望」で我々に多くのものを伝えてくださった。頂戴した資料は「日本の将来を憂うA5判18枚\*非常事態と民主政治\*甘美な子供観を捨てよ\*古人に支えられる今人\*新しいものを盲進するな\*保守と革新の異同を并せよ\*道徳の普遍性と特殊性」B4判6枚は\*小手先いじりの臨教審\*徳育に関する名言集(先生の手書き)\*戦後教育をただし「修身」を復活せよ\*正論・道徳教育について教育に「孝」の復権を\*日本独自の神経症治療法「盛田療法」A3判の2枚は\*正論75回のテーマ「私の尊敬できる医師」で入選した和田先生の論文「医師は慰者」慈愛の心で\*正論第43回入選の「我が家の性教育」と膨大なものであり我々に多くの指針を与えて下さった。尚このほか先生の書き下ろし原稿で「天皇制」で比喩なき日本の国体を論じられた。



恩師和田隆先生の特別講義を受けて懇親会に移る。総合司会大塚保、世話人代表挨拶渡邊光夫、和田先生の米寿を祝う言葉栗栖三男、米寿の記念品として校歌のオルゴール入り本館模型は北海道から参加した中山福男君が代表して和田先生にご贈呈申し上げた。和田先生の謝辞あり、乾杯の音頭は狩谷孝雄、大津一郎のダブル音頭。余興の進行は森田康、中川平で大いに盛り上がる。校歌「沃野一望数百里……」は宮司義郎、松尾一郎の指揮で声高らかに学生時代を想起しながら斉唱した。中締めは栗山光夫、小堀敏彦の開業一本締め、閉会の辞は大塚保。閉会后全員が借り切ったカラオケルームに移り懐旧の情に浸りながら夜の更けるの知らず!!

嘉會「易經」よい集まり。めでたい会。よい巡り合わせ。



11月8日・十国峠に立ち学生時代の気分となり「ふじの山」「七里ヶ浜の哀歌」「仰げば尊し」校歌「沃野一望」の大合唱となる。熱海駅前広場では大塚君の「修学旅行完了の辞」あり多くの思い出を胸に再会を期して家路を辿る!!

### 事業所紹介シリーズ(第五回)

総合広告代理店 (株)廣洋社



今回は、初代の進修同窓会東京支部長として多大の貢献をされた

大正十五年卒(中第二十五回)黒田武重氏が昭和二十年九月に創設された廣洋社を紹介致します。

同氏は平成四年七月に逝去されましたが、支部長在任時は、現在の支部長と理事長の両方の業務を担当していたとのことであり、本業以外の奉仕的な同窓会活動にも立派な業績を残されました。本当にありがとうございました。ところで標題の広告代理店とは、工業製品、食品などの広告主と現在ではテレビ、新聞、雑誌などの広告媒体との間で広告戦略、企画を立てて仲介を行う業種をいい、自由主義社会にとって必要不可欠のものであります。

お気づきの方も多いいと思いますが、廣洋社の創設時期は終戦直後であり、武重氏が復員した直後の混乱時であり大変な時期であったはずですが、数年後には雑誌を主な広告媒体として軌道に乗ったこととあります。改めてその決断と実行力に敬意を表します。

廣洋社は創業以来(努力)(創意工夫)(誠実)の三つの企業理念のもと、着実に経営を続け、平成十四年には、めでたく創立五十七周年を迎えます。

会社所在地は文京区本駒込四丁目六番一号(電〇三三三八二八三二〇六)で、JR田端駅から歩いて十数分、都立駒込病院の北側にあります。地下鉄南北線本駒込駅、同千代田線千駄木駅からほぼ同様の距離に位置しております。

現在の経営陣容は同窓の昭和二十八年卒(高五回)黒田常俊氏が代表取締役社長であり、昭和三十一年卒(高八回)田村恒氏が取締役を経て相談役を



つとめ、両氏とも進修同窓会東京支部、東進会の役員としての活動歴があります。社長の

ご息も他社における数年間の勤務後、当社だけで十年以上の勤務実績があり、平成十四年四月には専務取締役に就任しました。これらから、また会社の沿革から、六十年、七十周年はむろん一〇〇周年も期待できる体制が整っていると思われられます。今後の継続発展を祈念して紹介を終わりとします。

### 役員・学年幹事会の動き

平成十四年二月二十七日於「玉淀」

(出席者)

植木満(8年卒)・渡辺光夫(20年卒)・

山藤和夫(23年卒)・坪井洋(27年卒)・西川恵美子(29年卒)・田村恒(31年卒)・大野金一(同)・坂本善之(同)・酒井隆二(同)・中村信秀(同)・沼里征二(33年卒)・大土英三(35年卒)・矢口照雄(37年卒)・小田倉光伸(同)・中島稜(38年卒)・安井恵子(41年卒)・長戸琴(同)・宮崎好廣(43年卒)・幕内邦夫(同)・岡崎孝宣(44年卒)・大関享(44年卒)・鈴木木良治(45年卒)・猪俣勝広(同)

### 議事

◆平成十四年度総会の開催について  
平成十四年三月十三日に四十四年会を開いて詳細を詰めることになっていく。総会通知は連休前が望ましいが会報印刷等もあるので、かなりタイトである。会場への楽器の持込方法を検討した方がよい。プラスチック、応援部への謝礼を会報の協賛広告で賄う。(その場で募金して金十四万円(植木会長は別)が集まった。)

### 平成十四年四月十日於「玉淀」

(出席者)

植木満(8年卒)・渡辺光夫(20年卒)・篠田康(同)・坪井洋(27年卒)・大野金一(31年卒)・坂本善之(同)・酒井隆二(同)・田村恒(同)・久松信明(41年卒)・長戸琴(同)・宮崎好廣(43年卒)・幕内邦夫(同)・岡崎孝宣(44年卒)・鈴木木良治(45年卒)・猪俣勝広(同)

### 議事

◆平成十三年度収支決算の承認  
◆平成十四年度収支予算の承認  
◆平成十四・十五年度役員の変更  
◆平成十四年度総会の会場の変更  
何れも別紙総会案内状のとおり承認された。

### 根本隆君を偲ぶ

平成十三年三月二十三日、桜の花も八分咲きとなった頃、元氣印の根本隆君も病魔には勝てず、遂に天国へと旅立ってしまった。あれから早や一年、彼の一周忌に友人たちと霊前に線香を手向けてきました。

彼は、努力の男で、弁護士として活躍する傍ら、家裁の調停委員として長年に亘り幾多の問題の処理に尽力し、その功績により平成十二年十一月十四日藍綬褒章を受賞し、今後益々活躍が期待される所でした。

彼は、大穂村大曾根(現つくば市大曾根)の出身で、今は故郷の筑波山麓にある筑波霊園に眠っています。つくば嶺の山ふところに抱かれし大いなる君永遠に安らか

今年もまた桜の季節になりました。思い起こせば昭和十八年四月、母校の校門の満開の桜並木を共にくぐって入学、今は廃線となった筑波線で通学し、戦中戦後を共に学び共に遊んだ楽しかった思い出が走馬灯のように廻ります。彼は、その生涯を自己の信念を貫き通して立派に生きた永遠の友です。  
平成十四年三月  
旧中48回卒 山藤 和夫

### 計報

ながらく当会の顧問をおつとめいただいた小松澤慎二氏(昭和5年卒)は、平成十三年四月五日永眠されました。謹んでここに冥福をお祈り申し上げます。

主要大学合格状況の過年度比較

平成14年3月28日現在

| 入 試 年 度 | 平成11年度 |     | 平成12年度 |     | 平成13年度 |     | 平成14年度 |     |
|---------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
|         | 合格者    | 新 卒 | 合格者    | 新 卒 | 合格者    | 新 卒 | 合格者    | 新 卒 |
| 大 学     |        |     |        |     |        |     |        |     |
| 北海道大    | 5      | 1   | 5      | 2   | 8      | 3   | 9      | 6   |
| 東 北 大   | 12     | 7   | 24     | 15  | 19     | 11  | 21     | 15  |
| 茨 城 大   | 2      | 1   | 4      | 4   | 14     | 10  | 6      | 4   |
| 筑 波 大   | 56     | 43  | 52     | 42  | 42     | 35  | 32     | 23  |
| 千 葉 大   | 13     | 8   | 2      | 1   | 13     | 4   | 5      | 5   |
| お茶の水大   | 7      | 4   | 9      | 7   | 5      | 4   | 3      | 3   |
| 東 京 大   | 30     | 21  | 31     | 20  | 32     | 24  | 33     | 24  |
| 東京外語大   | 5      | 3   | 5      | 3   | 2      | 2   | 3      | 3   |
| 東 工 大   | 11     | 5   | 18     | 13  | 9      | 4   | 13     | 9   |
| 一 橋 大   | 7      | 3   | 4      | 3   | 3      | 2   | 8      | 5   |
| 横 浜 国 大 | 11     | 6   | 7      | 3   | 4      | 4   | 1      | 1   |
| 名 古 屋 大 | 1      | 0   | 2      | 2   | 1      | 0   | 3      | 0   |
| 京 都 大   | 7      | 4   | 5      | 1   | 9      | 5   | 7      | 3   |
| そ の 他   | 21     | 8   | 21     | 3   | 31     | 11  | 25     | 14  |
| 国立大計    | 189    | 114 | 189    | 119 | 192    | 119 | 169    | 115 |
|         |        |     |        |     |        |     |        |     |
| 青山学院大   | 31     | 13  | 22     | 14  | 22     | 16  | 18     | 11  |
| 学 習 院 大 | 23     | 12  | 19     | 10  | 17     | 8   | 11     | 4   |
| 慶 応 大   | 70     | 40  | 69     | 38  | 48     | 22  | 62     | 43  |
| 国際基督大   | 7      | 5   | 4      | 4   | 7      | 5   | 3      | 3   |
| 上 智 大   | 21     | 8   | 32     | 18  | 22     | 14  | 28     | 19  |
| 中 央 大   | 24     | 10  | 23     | 13  | 30     | 16  | 38     | 15  |
| 津 田 塾 大 | 6      | 5   | 3      | 2   | 7      | 3   | 5      | 4   |
| 東京女子大   | 10     | 7   | 5      | 5   | 7      | 4   | 15     | 9   |
| 東京理科大   | 94     | 36  | 101    | 51  | 87     | 30  | 79     | 28  |
| 日本女子大   | 15     | 12  | 15     | 10  | 8      | 2   | 7      | 4   |
| 明 治 大   | 36     | 17  | 48     | 23  | 42     | 20  | 47     | 19  |
| 立 教 大   | 26     | 15  | 30     | 20  | 26     | 10  | 35     | 23  |
| 早 稲 田 大 | 86     | 47  | 84     | 43  | 108    | 62  | 88     | 42  |
| 法 政 大   | 23     | 6   | 26     | 16  | 20     | 9   | 17     | 9   |
| そ の 他   | 168    | 48  | 167    | 51  | 171    | 58  | 147    | 40  |
| 私立大計    | 640    | 281 | 648    | 318 | 622    | 279 | 600    | 273 |
|         |        |     |        |     |        |     |        |     |
| 公立大計    | 5      | 3   | 5      | 1   | 10     | 5   | 11     | 8   |
| 大 学 校 系 | 8      | 2   | 5      | 4   | 6      | 3   | 3      | 2   |
| そ の 他   | 2      | 1   | 4      | 3   | 2      | 2   | 2      | 1   |
|         |        |     |        |     |        |     |        |     |
| 総 計     | 844    | 401 | 851    | 445 | 832    | 408 | 785    | 399 |

平成十四年度の進学状況について

毎年話題になるのが東大合格者が全国の公立高校でトップか、ということですが、今年は、残念ながら岡崎高校の三十六名に次いで二番目でした。

前年減った東北大、東京工大は、それぞれ二十一名、十三名と挽回しましたが、筑波大は、去年と同じようにまた十名減りました。教員志望者の減少

と関係があるのでしょうか。その分一橋大が頑張っています。国立大合計では、昨年度と比べて、現役はそれほど代わりませんが、総計では二十三名の大幅減です。昨年度総数で一〇八名と大台を突破した早稲田大は、現役が二十名減って、その分慶応大が二十名増えました。

絵・林 幸子(昭和37年卒)

(先日荒川沖で個展を開催)



編集後記

今年も総会が迫ってまいりました。今年の当番幹事の昭和四十四年卒の皆さんがいろいろ工夫を凝らして準備を進めています。

東進会の会報「東進」は、総会の時期だけは、総会の案内状に同封して会員全員の三二六八名にお送りしています。

総会の雰囲気をも十分伝えられないのは残念です。初めての方もぜひ一度出席してみてください。

本号の事業所紹介は、東京支部の発展に多大な貢献をされた故黒田武重氏が創立された廣洋社を訪れ、現社長の黒田常俊氏から話を伺ってきました。

謳粋会の記は、篠田謳粋会会長の健筆が続いています。篠田会長ご自身が謳粋会会員に次回の案内状と共に送られているものを抜粋して掲載させて頂いております。毎月金曜日に開催していますから是非参加してみてください。















エッ、焼かないって?いやいや、3~4cmにスライスした輪切りの大根にいしるを塗って付け焼きにしたら、これが減法旨くて酒の肴にたいへんよく合うのだ。フロフキ大根に似ているが蒸して旨味を凝縮した味。

◆揚げ物 白魚かき揚げ、かにチーズ、カボチャアーモンド

何ともたおやかな繊細な感じの白魚かき揚げだが、レモンを絞って戴くと、酒仙おくあたわざるところで、更に一献。

◆たけのご飯

正月にタケノコと聞くとちょっと驚く、尤も最近では、ボイルした缶詰やバック詰めは何時でも手に入るのだが、この季節に香り高い生ものは珍しい。早掘りタケノコの産地で有名な北九州小倉南区の合馬(オウマ)でも2月初旬にならないと採れないのだが、はてさて何処のものかと思ったら、あったあった鹿児島では12月に正月用の収穫をするという。早掘りは高級和牛並みの値がすると聞いていたので、「玉淀」さんのおもてなしの気の入れように敬服する。食べると、そこにはもう春の香りが漂い、ふっくらと炊き込まれた旨さに今年の夢の膨らむのを覚える。

◆留め碗 かぶとかきの清汁

余り一般ではお目に掛かれない澄まし汁。我が家で燕を煮炊きするとトロトロになってしまうが、そうならないのが職人の腕なのだろう。牡蠣鍋でドンと牡蠣が食べたくなった。



【お酒】

◆隆

川西屋酒造店 神奈川県足柄上郡山北町

◆黒田城 大手門 純米吟醸

(株)杜の蔵 福岡県三潁郡三潁町

◆成 政 無濾過生原酒

成政酒造(株) 富山県西砺波郡福光町

出羽豊稜 (小仕込特別純米酒)

男山酒造(株) 山形県山形市八日町

◆以心 特吟

白麴酒造(株) 兵庫県西宮市浜町

◆北翔

大洋酒造(株) 新潟県村上市飯野

◆誉国光 特選仕込み

(南)土田本店 群馬県利根郡川場村

◆加賀鷹 純米吟醸

(株)福光屋 石川県金沢市石引

第42回謳絆会

開催日 平成14年2月8日 参加者14名

会場 四ツ谷「ワインハウス美味小家」



丁度3年前の2月に行った時と同じ料理、お店自慢の鍋料理(チーズフォンデュとブイヤベース)と牛ステーキで予約した。

前は本店だったが、今回はその裏手のしんみち通りにある、かつての『美味小家しんみち店』、今は『ワインハウス美味小家』に名称が変わっていた。昼間は割合静かな目立たない通りだが、夜になるとこの街も両側に建ち並ぶ様々な飲食店などの華やかなネオンやイルミネーションに彩られて、歓楽の街にスポイルされてしまいそうな華麗な夜の街でもある。

お店で皆さんを待っている間に、沢山の客が訪ねて来る。殆どの客が勤め帰りのサラリーマンやOLたちで、全部予約のお客さんだ。世間には不景気が吹いている今時、こんなに流行る店があるのだと感心した。これも安く美味しい本物の料理を提供している村井社長のもてなしの心が、お客さん一人一人に沁み込んで、一度来たら忘れられなくなるのだろう。正直いって私もここへ来ると、何か大きな懐に抱かれた気持ちになり、ついつい我が儘を言ってお酒を持ち込んだりしてしまう。今年、村井さんは年男、午年にあやかって奔馬の如くご隆昌を祈りたい。

【料理】

◆先付け マグロのカルパッチョ

「へーこれがマグロ?マグロでこんな料理があるんだ」と誰かが驚嘆の声を発した。

寿司屋でしか見たことのないマグロが大きく薄切りにされ、洒落たソースを添えて供されたことに驚くと共に、嬉しく味わった。

◆チーズフォンデュ

スイス産のチーズを3種類ブレンドしたという。何と何をブレンドしてあるのか聞き損なったが、青麴の香りのすることだけは判った。最後に残ったチーズを丸めて、メレンゲのようにして食べるつもりだったが、火力が強すぎて、最後に焦がしてしまったのは残念だった。それでも無理して剥がすと、香ばしいどころか少々苦かった。胃袋の虫も驚いたことだろう。

お魚料理

◆ブイヤベース

ブイヤベースは鍋料理と思っていたら、今

回はブイヨンで煮た魚介を大皿に盛り、ソースは別に井の様な器に入って、銘々に運ばれて来た。実はいつもと同じスタイルでは、と鍋では無く、魚とソースを別にして出したもので、これもブイヤベースなのだそうだ。皿にはオマールエビをはじめ、ムール貝、帆立貝、ハマグリ、白身魚など、鍋の材料と全く同じものが彩り良く盛られていた。コクのあるまろやかなソースが、魚介の味の良さを引き出して、更に白ワインがその美味さを高めて、食いしん坊の胃の腑を喜ばせてくれた。

お肉料理 (La viande)

牛フィレ肉の美味小家スタイル

◆グリーンマスタードソース

狂牛病の発生以来とかくに評判の悪い牛肉で、一般の消費も落ち、肉屋の牛肉の販売量は激減しているという。そして最も被害を被っているのは生産農家であろう、搾乳できない老牛の処置に困り、捨てられる牛がいるという。まことに迷惑な話で、実際にある悲しい事だが、それは置いて、今回もまた厚切り肉の大きなステーキで、噛むと味のある柔らかな旨い肉だった。久しぶりに美味しい肉に、バルベラ種で造られた赤ワインが程よくマッチして、素晴らしいハーモニーとなり、肉料理の美味さを満喫させてくれた。

◆デザート

赤いフルーツのフィユテ

フランボワーズのソース

ピンク色したフルーツのフィユテ、最後の締め、上品で爽やかなデザートを香り高いコーヒーで頂く時、気分は王様。

【お酒】

◆白ワイン ソアベ '00

イタリア バルベ社

良く熟した果実の香り、厚みも酸味も程よく、イタリアと言うよりは、むしろ洗練されたヨーロッパの味と思われた。

◆赤ワイン バルボ・ピッテラ '00

イタリア バルベ社

ピエモンテ地方の代表的赤ワイン品種のバルベラで造られる代表的な赤ワイン。2年熟成後出荷の程よい若さだ。酸味とコクの釣り合いの取れた、洋風の肉料理に合う味。

◆隆 純米吟醸

川西屋酒造店 神奈川県足柄上郡山北町

◆安寿 別囲い特別純米酒

藤井酒造(株) 広島県竹原市

蔵元が語る特徴: 広島産酒造好適米・八反錦を丹念に手作りして醸した純米酒を生のまま熟成させ、瓶詰め火当て後、水温で別囲いしました。日本酒の持つ発酵から来る香味が残っており、繊細で奥行きのある爽やかな味が楽しめます。

◆美千里 純米吟醸

舞姫酒造(株) 長野県諏訪市

東武百貨店船橋店オリジナルの醸造品。

東進会会長  
港区議会議員  
日・中友好港区議員連盟

会長 植 木 満  
(昭和8年中卒)

坪 井 洋  
(昭和27年卒)

〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-3-1-701  
電話 03-3430-7129

一高吹奏楽部・応援部  
総会出演費用カンパ  
協賛広告

来る6月の総会に出演する土浦一高吹奏楽部・応援部の費用を賄うため役員・学年幹事の有志にご協力をいただきました。有難うございました。

株式会社 廣 洋 社

代表取締役 黒 田 常 俊  
(昭和28年卒)

相談役 田 村 恒  
(昭和31年卒)

〒113-0021 東京都文京区本駒込4丁目6番11号  
電話 03-3828-3106  
FAX 03-5685-2421

(社)日本消費生活アドバイザー・  
コンサルタント協会 常任顧問  
健やか生活研究会 会長

渡 邊 光 夫  
(昭和20年中卒)

〒191-0052 東京都日野市東豊田4丁目23-7  
電話 042-582-3923  
FAX 042-582-2465

株式会社 ライフ 経営  
西川会計事務所

税 理 士

西 川 恵 美 子  
(昭和29年卒)

〒115-0044 東京都北区赤羽南2丁目4番15号  
電話 03-3902-1200  
FAX 03-3901-5600

山 藤 商 店

代 表

山 藤 和 夫  
(昭和23年中卒)

〒124-0011 東京都葛飾区四つ木2-27-9  
電話 03-3695-3377

有限会社 アイリス薬局

代表取締役

長 戸 琴

(昭和41年卒)

〒335-0002 埼玉県蕨市7-28-3 大西ビル101  
電話 048-434-2500  
FAX 048-434-2510

(昭和31年卒)

有 志 一 同

(昭和43年卒)

有 志 一 同

大野法律事務所

弁 護 士

大 野 金 一

(昭和31年卒)

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目8番  
麹町スカイマンション805号  
電話 03-3556-9787  
FAX 03-3556-9788

株式会社 東京理工舎

代表取締役

岡 崎 孝 宣

(昭和44年卒)

〒114-0012 東京都北区田端新町2-2-10  
電話 03-3893-0191  
FAX 03-3893-0195

株式会社 玉 淀

代表取締役

坂 本 善 之

(昭和31年卒)

〒175-0011 東京都豊島区南大塚2-41-5  
電話 03-3945-3033  
FAX 03-3945-3788

株式会社 グローバルヒューマンサービス  
有限会社 オフィス桜水企画

代表取締役

猪 俣 勝 広

(昭和45年卒)

〒150-8944 東京都渋谷区渋谷2-15-1  
電話 03-6644-0454

シーエム・カスタム・プロダクト株式会社

相 談 役

中 村 信 秀

(昭和31年卒)

〒229-1192 神奈川県相模原市田名3700番地  
電話 042-763-7219

株式会社 荏原製作所

環境計量士

鈴 木 良 治

(昭和45年卒)

〒108-8480 東京都港区港南1-6-27  
電話 03-5461-6223  
FAX 03-5461-6085

(昭和41年卒)

有 志 一 同